

# ハウスブレース

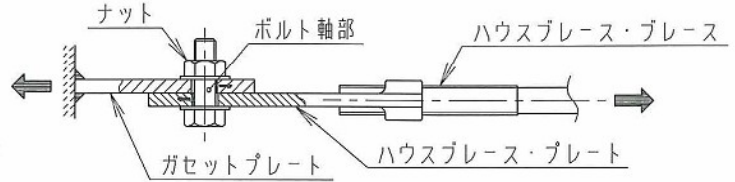
## 取扱要領

この度は、港製器工業(株)の製品をお買い上げいただきまして誠に有難う御座います。品質には万全を期しておりますが、より一層お客様に安全かつ快適にご使用いただくために、下記についてご注意ください。お願い申し上げます。

### 接合方法

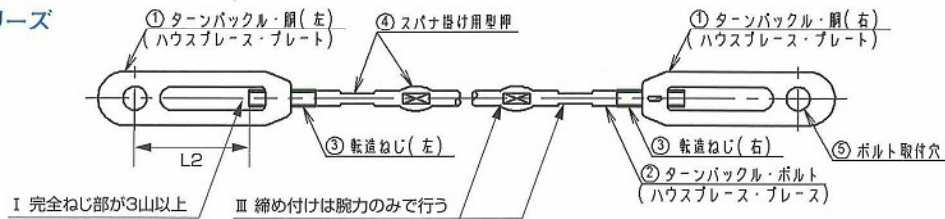
ハウスブレースの接合は、JIS A 5540 ターンバックルブレースに規定されている『高力ボルトを使用した一面せん断(支圧)接合(中ボルトと同じ締付方法)』に準拠します。

注1: コンパクトタイプはガセットとの取合により調整代が短くなることがありますので、寸法の選定には十分ご注意ください。  
注2: 高力ボルトは、取付時にねじ部がせん断面にこないよう、長さを選定して下さい。



### 使用上/施工上のご注意

#### ●ハウスブレースシリーズの構成図



	M10	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
加える長さ:L2	55	65	70	80	90	105	110	115
④ 型押厚さ	6	9	10	12	13	14	16	18
⑤ 取付穴径	φ11	φ14	φ14	φ17	φ17	φ21.5	φ23.5	φ25.5
取付BT	M10	M12	M12	M16	M16	M20	M22	M24
コンパクトタイプ調整代(参考※1)	+45 -70	+45 -80	+60 -90	+65 -100	+70 -120	+75 -120	+80 -140	+85 -150

※1 調整代は、ガセットプレートの形状・寸法によって変わりますので、ご注意ください。

- I. ①ターンバックル胴と②ターンバックルボルトの接合は、組込み後、ボルトの完全ねじ部がボルトの円筒部側に3山以上出るように調整してください。
- II. 寸法(長さ)の調整は④スパナ掛け用型押にスパナ、モンキー等を利用して下さい。締め付け時には、モンキー等の挟み代に余裕のある工具を使用してください。
- III. 締め付けに際しては、体重や足の屈伸を利用せず、腕力だけで締め付けてください。(手締めによっても簡単に導入張力をオーバーし、締め切ってしまう恐れがあるので、建ち起こし等には使用しないで下さい。)
- IV. 溶接等による継ぎ手の使用は禁じられております。

※保証荷重及び引張荷重(最小)は、プレート部はJIS A 5541ターンバックル胴に準拠しています。

(スーパーブレースは当社規定強度に依る)

※取付ボルトはJIS B 1186 2種高力ボルト(F10T)又はJIS B 1180中8g10.9とします。(構造用トルシア形高力BTも使用できます。)

取付ボルトは、ターンバックルの呼び径以上のものをご使用下さい。

※羽子板とガセットプレートとは、一面せん断(支圧)接合です。

### ジョイント式の組立方法

ご指定により、ジョイント式による分割納入をさせて頂くことがございます。ジョイント式をご使用の際は、下記の事項を必ず遵守して下さい。(分割納入の際は、長い側を共通寸法と致します。)

- ① ジョイント部には長ナットを用います。
- ② 納入時には、A(主に長い側)に取り付けた長ナットを、溶接又はナットによりロックした状態で納入されます。
- ③ 組立時には、B(主に短い側)をAのねじ部先端に当たるまで挿入して下さい。挿入後は、ロックナットで固定し、締付が緩まないことを確認してください。(※ロックされたジョイント部でブレースの施工・締付は行わないで下さい。)
- ④ 施工後は、もう一度ロックナットの固定をご確認下さい。

